

## 工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

### 【工事事務(速報)発生状況】 (H23.1.31現在)

|             | 1月発生件数 | 累計件数 | 死亡者数 | 負傷者数 |
|-------------|--------|------|------|------|
| 平成22年度(今年度) | 9件     | 70件  | 3人   | 25人  |
| 平成21年度(昨年度) | 4件     | 81件  | 1人   | 33人  |

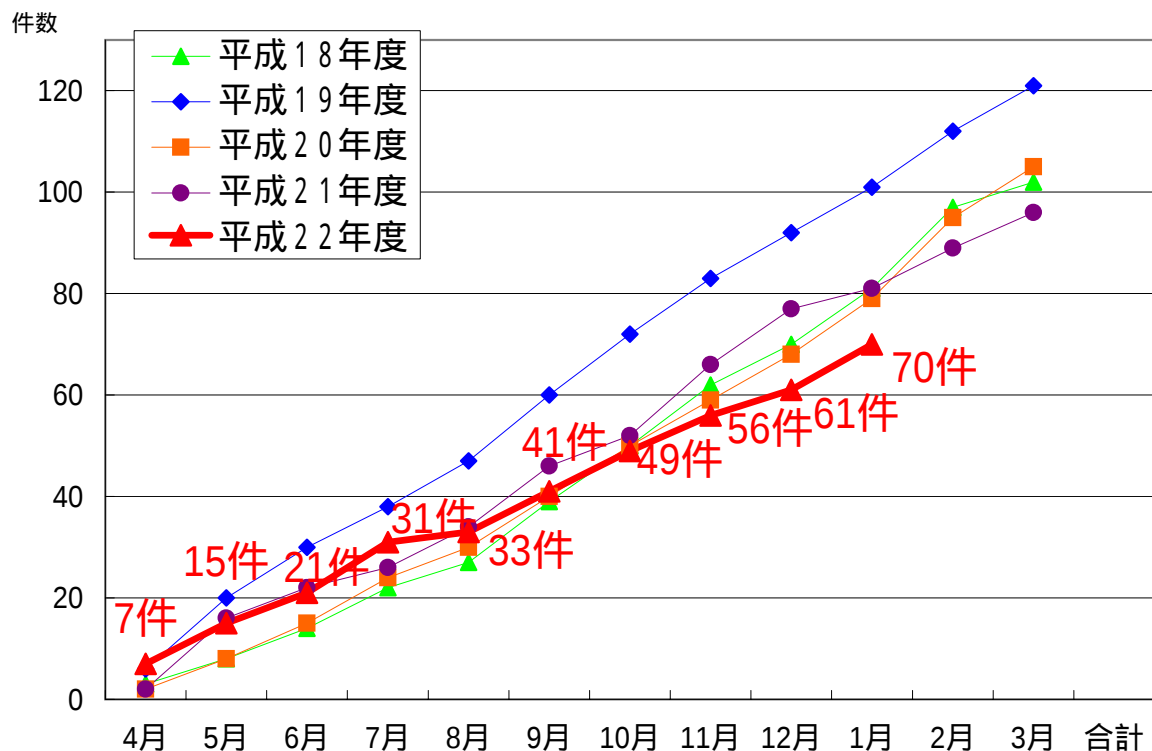
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「1月発生件数」は、1/1～1/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～1/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～1/31の累計人数を示す。

注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

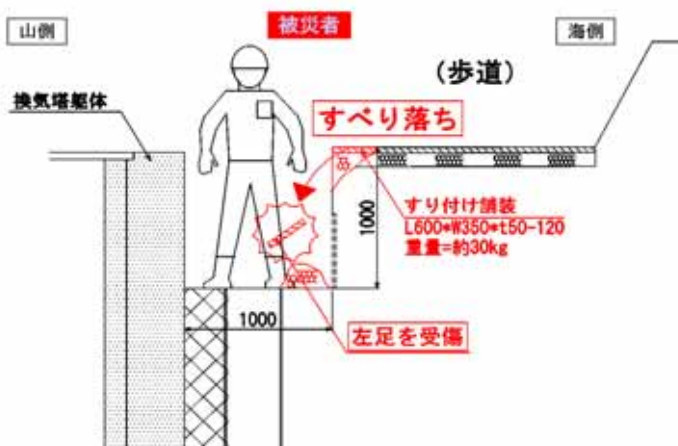


|       |                                                  |    |     |          |          |    |   |
|-------|--------------------------------------------------|----|-----|----------|----------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 8 日 ( 土 )                            |    |     |          | 1 時 30 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 道路系事務所 一般土木工事                                    |    |     |          |          |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                               | 年齢 | 職種  | 被災の程度    |          |    |   |
|       | 男                                                | 41 | 作業員 | 左足脛骨開放骨折 |          |    |   |
| 事故概要  | すり付舗装撤去、掘削、埋戻しの作業中、掘削端部の舗装片が作業員の足に滑り落ちてきて負傷したもの。 |    |     |          |          |    |   |

## 事故発生状況



・歩道部路面復旧のため、覆工桁の撤去後にバックホウですり付舗装の撤去、掘削、埋戻しを行った。  
 ・重機でとりきれなかった舗装片を除去するため、作業員が埋戻し面に降りたとき、すり付舗装の一部が碎石とともに作業員の足に落ちてきて負傷した。  
 ・重機作業ですり付舗装に亀裂が入り、また、地山が緩んでいたことから落下したものの。



### 【事故発生原因】

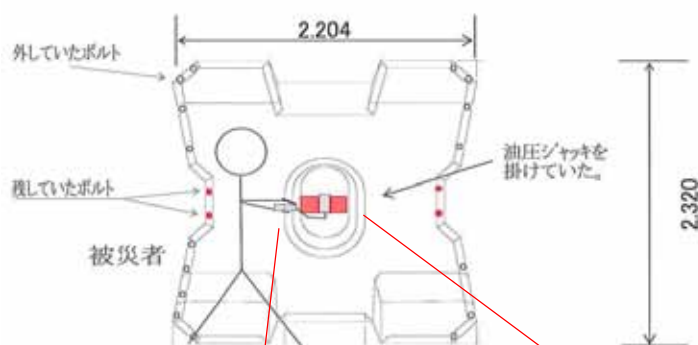
- ・作業員が地山の状態を確認せずに、掘削面に降りて作業を進めたため。
- ・舗装片等の落下の危険性が作業手順に反映されていなかったため。

### 【事故防止のポイント】

- ・作業箇所の地山の状態等、安全を確認したうえで作業に着手する。
- ・作業進捗により変化する現場状況にあわせて危険を想定し、作業手順を立案する。

|       |                                                             |    |     |                        |           |    |   |
|-------|-------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------|-----------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 11 日 ( 火 )                                      |    |     |                        | 11 時 50 分 | 天候 | 曇 |
| 工事情報  | 河川系事務所 一般土木工事                                               |    |     |                        |           |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                                          | 年齢 | 職種  | 被災の程度                  |           |    |   |
|       | 男                                                           | 35 | 作業員 | 腰椎破裂骨折、腰椎横突起骨折、腰椎棘突起骨折 |           |    |   |
| 事故概要  | 根固ブロックの型枠を脱型するため、油圧ジャッキを使用して作業していたところ、型枠が転倒し、作業員に接触し負傷したもの。 |    |     |                        |           |    |   |

## 事故発生状況



・型枠のセンター部分のボルト4本を残して、油圧ジャッキにより剥離作業を実施していたところ、型枠が転倒した。  
その際、型枠が作業員に接触し負傷した。



※作業員は、転倒に気づき後方へ退避したが腰を強打



### 【事故発生原因】

- ・型枠が転倒しないようにクレーンで吊っていなかった。
- ・型枠の転倒範囲内で油圧ジャッキを操作していたため。
- ・ボルトの締め具合の確認をしなかったため。
- など

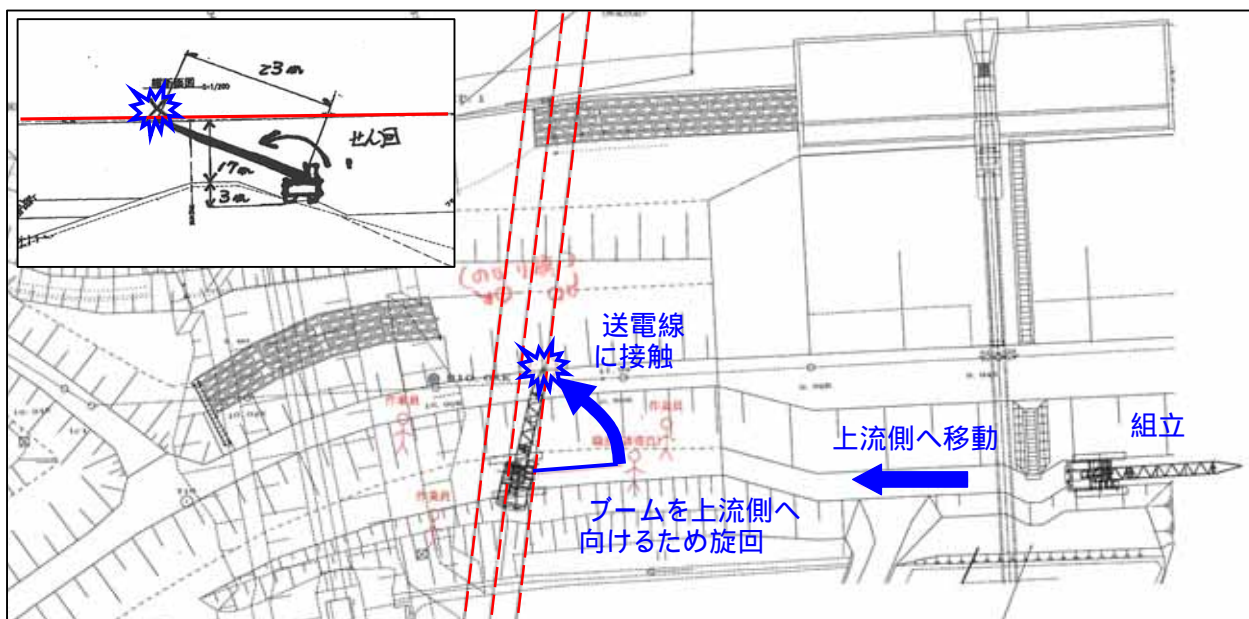
### 【事故防止のポイント】

- ・型枠の転倒等危険の恐れがある場合は転倒防止措置を講ずる。
- ・作業時は転倒範囲を立入禁止とし、安全離隔距離を確保する。
- ・作業手順について作業員に周知・徹底する。
- など

別紙

|       |                                                                             |    |    |                        |          |    |   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------|----|----|------------------------|----------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 12 日 ( 水 )                                                      |    |    |                        | 14 時 0 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 河川系事務所 一般土木工事                                                               |    |    |                        |          |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                                                          | 年齢 | 職種 | 被災の程度                  |          |    |   |
|       | -                                                                           | -  | -  | 電線損傷及び送電停止(受電者への影響は無し) |          |    |   |
| 事故概要  | 鋼矢板打設作業の準備中、クローラークレーンを旋回させたところ、ブームが上空の送電線(高压線)に接触させて、電線の損傷及び一時的に送電を停止させたもの。 |    |    |                        |          |    |   |

## 事故発生状況



- ・施工箇所より300m下流の川裏側の平場でクローラークレーンを組立後、施工箇所まで自走にて移動。
- ・下流側に向けていたブームを上流側に向けるため、作業員4名を見張りとして配置し、うち1名が誘導にあたり旋回させることとした。
- ・旋回した際に、堤防天端の高さにあわせてブームを上げたため、上空の送電線に接触(接近)させたもの。(安全離隔距離として4m必要)

### 【事故発生原因】

- ・高压線近接作業における制限事項について周知不足
- ・高压線からの安全離隔距離を確保するための対策を講じていなかった。
- ・旋回する際の周辺状況の確認が不十分であった。

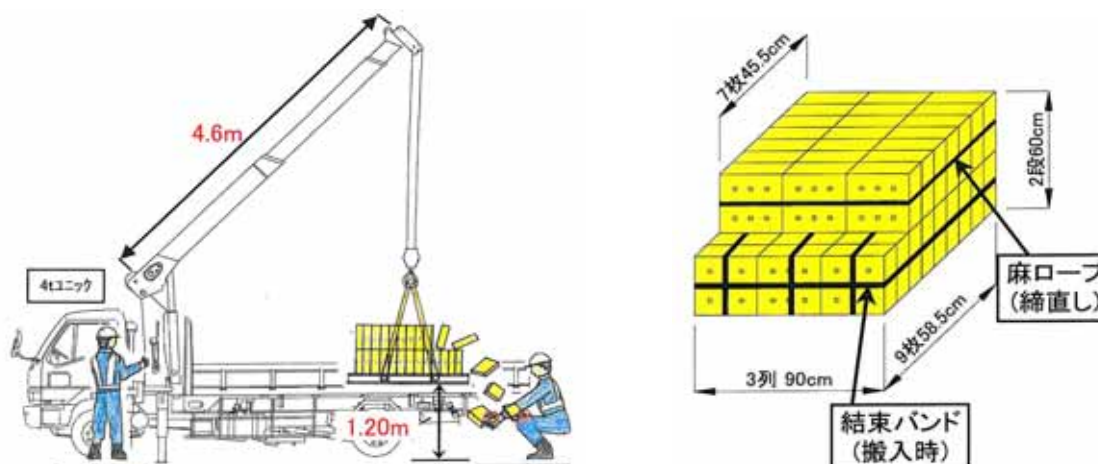
### 【事故防止のポイント】

- ・架空線等の近接箇所における作業方法等の手順確認
- ・架空線位置や注意事項等の作業関係者への周知徹底
- ・安全離隔距離を確保するための目印表示設置 など

別紙

|       |                                                                      |    |     |                |           |    |      |
|-------|----------------------------------------------------------------------|----|-----|----------------|-----------|----|------|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 13 日 ( 木 )                                               |    |     |                | 20 時 40 分 | 天候 | 曇時々晴 |
| 工事情報  | 道路系事務所 As舗装工事                                                        |    |     |                |           |    |      |
| 被災の状況 | 性別                                                                   | 年齢 | 職種  |                |           |    |      |
|       | 男                                                                    | 64 | 作業員 | 右手小指切傷、右足大腿部切傷 |           |    |      |
| 事故概要  | クレーン付トラックにて点字ブロックを積み込み作業中に荷崩れを起こし、落下した点字ブロックを受け止めようとした作業員に接触し負傷したもの。 |    |     |                |           |    |      |

## 事故発生状況



- ・資材置き場にて点字ブロックをクレーン付トラックの荷台へ積込作業を行っていた。
- ・吊り荷作業中に荷崩れを起こし、作業員が落下する点字ブロックを受け止めようと咄嗟に手を出したため、手と足を負傷したもの。
- ・点字ブロックは納品時に梱包された状態であったが、前日の作業で使用した際に梱包が解かれており、当日は麻ロープで結束した。



事故発生位置



事故発生時使用したユニック

### 【事故発生原因】

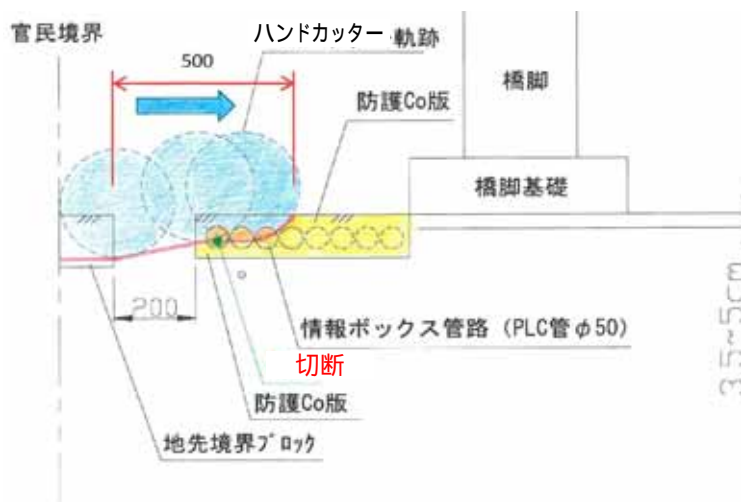
- ・資材の結束不足やバランスを欠いた積載方法など。
- ・吊り荷が落下する際に、安易に近づいたため。 など

### 【事故防止のポイント】

- ・玉掛け作業時に吊り荷が安定しているか、荷姿を確認する。
- ・吊り荷が落下する恐れのある範囲には立入禁止を徹底。 など

|       |                                                                 |    |    |         |           |    |   |
|-------|-----------------------------------------------------------------|----|----|---------|-----------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 13 日 ( 木 )                                          |    |    |         | 11 時 57 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 道路系事務所 As舗装工事                                                   |    |    |         |           |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                                              | 年齢 | 職種 | 被災の程度   |           |    |   |
|       | -                                                               | -  | -  | 光ケーブル損傷 |           |    |   |
| 事故概要  | 地先境界ブロックを撤去するため、ハンドカッターで切断していたところ、埋設されていた情報BOX管路の光ケーブルを損傷させたもの。 |    |    |         |           |    |   |

## 事故発生状況



### 【事故発生原因】

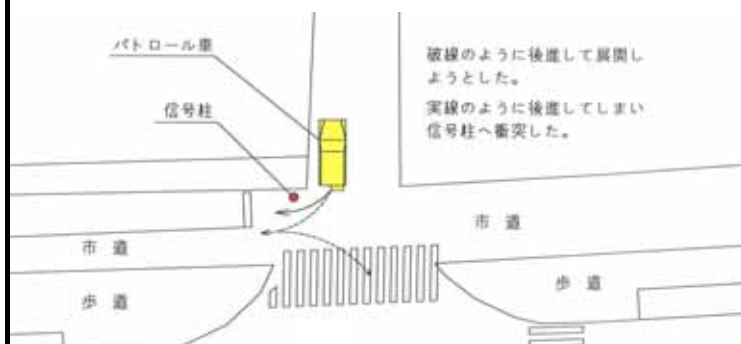
- ・地下埋設物に関する事前確認不足。  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・台帳、図面、管理者の立会、試掘等により地下埋設物を確認する。
- ・地下埋設物調査結果と施工箇所の状況を作業前に比較し、見落としがないか確認する。  
など

|       |                                                             |    |    |           |    |   |
|-------|-------------------------------------------------------------|----|----|-----------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 18 日 ( 火 ) 13 時 42 分                            |    |    |           | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 道路系事務所 維持修繕工事                                               |    |    |           |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                                          | 年齢 | 職種 | 被災の程度     |    |   |
|       | -                                                           | -  | -  | パトロールカー損傷 |    |   |
| 事故概要  | 道路巡回中にルートを間違えたため、方向転換して所定のルートへ戻ろうと後退した際に、信号柱に接触し車両を損傷させたもの。 |    |    |           |    |   |

## 事故発生状況



現地状況



車両損傷状況

### 【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

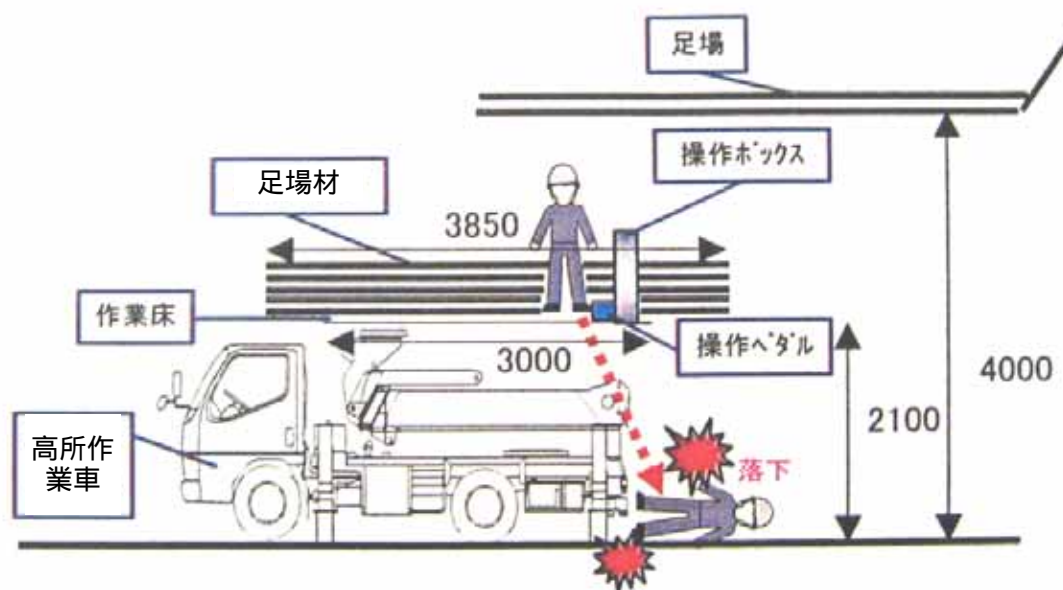
### 【事故防止のポイント】

・無理なく安全に停車、方向転換出来る場所を選択する。  
・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。  
など

別紙

|       |                                                    |    |     |                |          |    |   |
|-------|----------------------------------------------------|----|-----|----------------|----------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 21 日 ( 月 )                             |    |     |                | 9 時 25 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 道路系事務所 塗装工事                                        |    |     |                |          |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                                 | 年齢 | 職種  | 被災の程度          |          |    |   |
|       | 男                                                  | 47 | 作業員 | 踵骨開放粉碎骨折、中指骨骨折 |          |    |   |
| 事故概要  | 高所作業車上にて仮設材の積み込み作業中、作業員が足下にある操作ボタンにつまずき、落下、負傷したもの。 |    |     |                |          |    |   |

## 事故発生状況



- ・高所作業車にて足場材をリフトアップする準備作業。
- ・2tユニックで高所作業車に足場材を載せる作業を完了後、作業床上にいた作業員が操作ペダルにつまずき、地上に落下、負傷したもの。
- ・作業床が足場材より小さく、手すりをはずして作業を行っていた。

### 【事故発生原因】

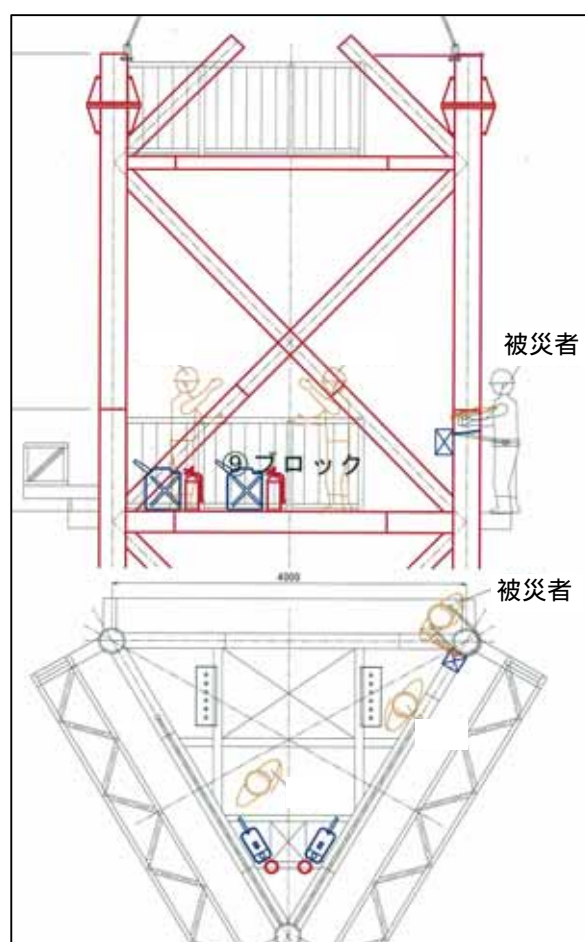
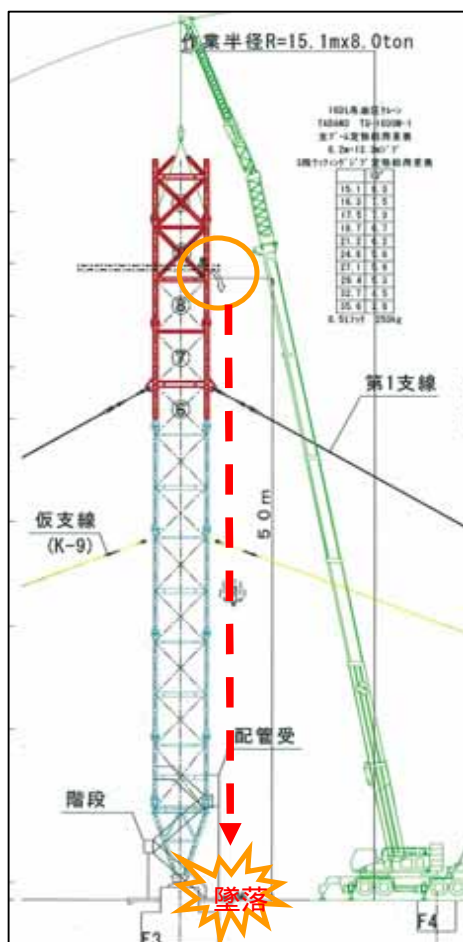
- ・作業車の機種を選定を誤ったため、手摺を外した作業床で作業を行ったため。
  - ・安全帯を使用せずに高所作業を行ったため。
- など

### 【事故防止のポイント】

- ・搭載する足場材に合った機種を選定し、高所作業時には安全帯を着用することを周知・徹底する。
  - ・作業手順について作業員に周知・徹底する。
- など

|       |                                                                                 |    |     |       |    |   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 22 日 ( 土 ) 13 時 51 分                                                |    |     |       | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 営繕系事務所 建築工事                                                                     |    |     |       |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                                                              | 年齢 | 職種  | 被災の程度 |    |   |
|       | 男性                                                                              | 43 | とび工 | 1名死亡  |    |   |
| 事故概要  | 鉄塔解体作業において、地上から約50mの鉄塔上部でガス切断機を使用して、クレーンで吊り下ろす際のフック取付用の穴をあけていたところ、作業員が墜落し死亡したもの |    |     |       |    |   |

## 事故発生状況



- ・鉄塔を約4m毎に切断し、クレーンで地上に吊り下ろす手順で解体作業を実施。
- ・地上から約50m付近にて、ガス切断機を使用し、鉄塔の柱にクレーンで吊り下ろす際のフック取付用の穴をあけていたところ、作業員が墜落。
- ・安全帯のロープを鉄塔の柱にまわして使用していたが、ロープが切断していた。

### 【事故発生原因】

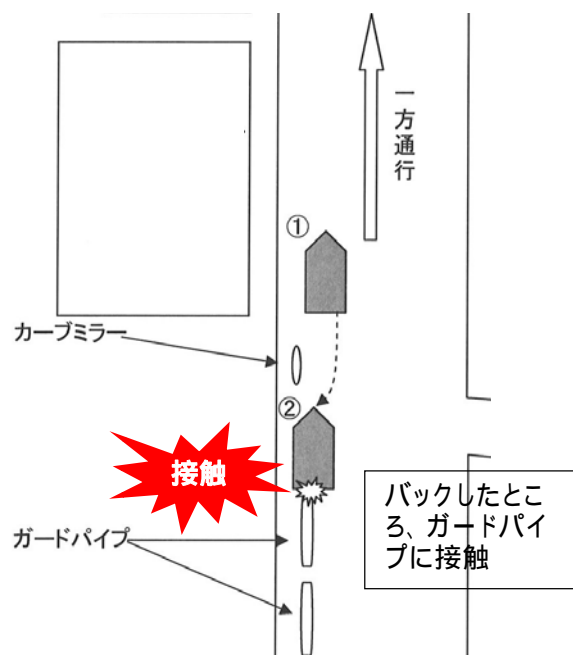
・原因調査中

### 【事故防止のポイント】

- ・作業前に安全帯損傷状況等を確認し、異常が確認されたものは使用しない
- ・火気使用の際は、安全装備が損傷しないように防護措置を講ずる
- ・二丁掛けの安全帯使用 など

|       |                                                 |    |    |       |    |   |
|-------|-------------------------------------------------|----|----|-------|----|---|
| 発生日時  | 平成 23 年 1 月 24 日 ( 月 ) 13 時 30 分                |    |    |       | 天候 | 晴 |
| 工事情報  | 河川系事務所 役務                                       |    |    |       |    |   |
| 被災の状況 | 性別                                              | 年齢 | 職種 | 被災の程度 |    |   |
|       | -                                               | -  | -  | 官用車損傷 |    |   |
| 事故概要  | 車両を移動させようとバックしたところ、後方にあったガードパイプに接触し、車両を損傷させたもの。 |    |    |       |    |   |

## 事故発生状況



車両損傷状況

### 【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

### 【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。  
・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など